

あす、延岡大空襲の日

昭和20年6月29日 死者300人以上

投弾機数117、投下焼夷弾約10万発

米軍資料

昭和20年6月29日未明、延岡の街は米軍による焼夷(しょうい)弾の集中攻撃によって火の海となった。この延岡大空襲で飛来した大型戦略爆撃機B29の数が焼夷弾の数はつきりしていない。これまでに、それぞれ二つずつ別の数字が用いられてきた。B29の飛来機数は「40余機」と「117機」、焼夷弾は「約50万発」と「10万1855発」という数字だ。

■殉難碑の数字

「四十余機による油脂焼夷弾攻撃は投下約五十万発」と記しているのは、今山大師像前広場に立つ延岡空襲殉難碑。この碑文を書いた日向日新聞記者は昭和37年に月刊誌「延岡春秋」を創刊した。同誌は毎年6月に空襲特集を書いているが、その記事に登場する数字が少しずつ違っている。終戦から21年後の昭和

41年6月号では見出しに爆撃機B29を「50余機」、本文には焼夷弾を「20万発投下」とある。翌42年の記事には爆撃機が「推定50機」、焼夷弾は「50万発」とあり、殉難碑には「50機」とあり、殉難碑には「50機」とあり、刻まれた爆撃機と焼夷弾の数の根拠は、今となっては不明のまま。

■米軍資料

その後、米軍の資料が冊子にまとめられ、その資料からB29の飛来数、焼夷弾の数が明らかにされた。記録には「117機」「10万1855発」とあった。資料にはさらに細かな記録が残されている。20年6月28日、米軍の21爆撃機集団に下った作戦命令は岡山、佐世保、門司、延岡への4都市同時夜間爆撃。このうち、延岡への攻撃を担当したのは第314航空団。延岡攻撃に参加したのは本隊に目標を指示する先導機12機、焼夷弾を搭載し投下した爆撃機105機の計117機。最初「閃光(せんこう)弾投下から爆撃終了まで91分間の爆撃だった。搭載した焼夷弾は、5000発。集束焼夷弾が571個、1000発焼夷爆

■戦災者数不明

死者数についてはさまざまな数字が飛び交う。延岡春秋では「当時この空襲による殉難者は百三十名と市で発表した」とあるが、昭和39年の全国戦災都市空襲死没者数一覧では「死者1388名」、毎日新聞社が昭和50年発行の「億人の昭



今山大師像前広場に立つ殉難碑

和史では「死者258名」とまじりまじり。昭和39年の殉難碑建立に先立ち、元日窒化学工業製品部合成係長の市山幸作氏らが中心となって寺の境内に過去帳などを調べた結果では戦災者は3

あす、今山大師で慰霊法要

多くの参列者を呼び掛け

昭和20年6月29日未明に延岡の中心部を焼け野原にし、多くの犠牲者を出した延岡大空襲の慰霊法要が29日午前10時から、延岡市山下町の今山大師像広場に立つ延岡空襲殉難碑前である。一般市民にも広く参列を呼び掛けている。

延岡大空襲は米軍の爆撃機B29が投下した大量の焼夷弾によって、中心部が瞬く間に燃え上がり、多くの犠牲者を出した。殉難碑は延岡市議だった市山幸作さんらが中心となって準備を進め、昭和53年に建立。市山さんらのまementoとして、空襲による死者3000人を超えている。

ることが特に大切なことと思う」と訴えた。

■7月8日まで

平和祈念資料展 第15回平和祈念資料展は「延岡の空襲」犠牲者たちを忘れないために」をテーマに延岡市立図書館で7月8日まで開催している。昭和20年3月4日から終戦前日の8月14日まで十数回記録されている延岡への空襲について、体験者の証言や米軍資料などを交えながら、被害の大きさを具体的に展示している。

今山八幡宮で茅の輪作り

残り半年を健康に 30日に大はらえ祭 延岡

一年の半分という節 23日、夏越(なごし)し
目になる6月30日を前 の大はらえ祭に使用
に、延岡市の今山八幡 れる茅(ち)の輪作り
宮(伊藤俊郁宮司)で があつた。

大はらえ祭は茅の輪
をめぐり半年間の災難
や苦悩をほらいのけ、
あとの半年を平和に過

ごすよう願つて行われ
る。夏越しには暑い夏
を無事に過す願ひも
込められている。

茅の輪はイネ科の多
年草である茅(ちがや)
を束ねて作る。同八幡
宮の木村速穂権禰宜
(こんねぎ)と中井保
博権禰宜が、みこし庫
.....
茅の輪を作る今山八幡
宮の木村権禰宜(左)
と中井権禰宜(右)

4/28
で汗を垂らしながら茅
の輪作り。円形につな
ぎ合わせたパイプに茅
を纏でらせん状に巻き
付け、はみ出した葉を
はさみで切り取り約1
時間かけて完成させ
た。

茅の輪は今山恵比寿
神社の社殿前鳥居に設
置。大はらえ祭は30日
の午後5時から同7時
30分まで、木村権禰
宜は一残りの半年間を
健康に過すために
も、ぜひお越しくださ
いと呼び掛けている。

問い合わせは同八幡
宮(☎延岡21・452
5)。

